

第5期あきた伝統的工芸品等産業振興プランの概要

地域産業振興課

策定の趣旨

<目的>

伝統的工芸品等産業を育成・強化し、次代に引き継いでいくため本プランを策定し、産地・事業者(以下「産地等」という。)、市町村、県が一体となって伝統的工芸品等産業の振興に向けた取組を実施する。

<プランの位置付け>

秋田県総合計画等の趣旨に沿って、伝統的工芸品等産業の振興を推進するための基本計画

<推進期間>

令和8年度から令和11年度までの4年間

現状と課題

1 現状

第4期プランが新型コロナウイルス感染症の流行期に策定されたため、その影響を考慮した取組も多く見られたが、徐々に日常を取り戻し、販売事業等も再開。生産額等はわずかに回復した時期もあるが、コロナ禍以前の水準には戻っていない。

2 第4期プラン中の取組事例

- 産地等
 - ・ホームページ等販売ツールの整備
 - ・デザイナーや学生と連携した新商品開発
 - ・技術力向上に向けた講習会等の実施 等

R6商品開発インターンシップ事業開発商品「ミニ茶筒マグネット」



■県

- ・産地等・市町村の取組への補助
- ・インターンシップ事業等の実施による産地支援



・他県等と共同でインバウンドや海外展開を見据えた県産工芸品のPRと情報収集を実施

R7 ミラノデザインウィークにおける出展

■第39回伝統的工芸品月間

国民会議全国大会

開催地 秋田市(あきた芸術劇場他)

※本県では初開催

日程 令和4年11月17日(木)

～20日(日)



3 課題

- ・原料となる資源の減少
- ・原料を加工する職人等の高齢化や担い手の不足
- ・消費者の意識(ニーズ)の変化への対応

生産額の減少



目指す姿と基本方針

一 目指す姿一

安定的な生産体制が維持され、国内外への販路が拡大されている

一 基本方針一

1 原材料・製造用具の安定確保

- ・原材料確保に関する調査・研究
- ・情報共有体制構築に向けた取組



2 産地の将来を担う人材の育成・確保

- ・若い世代への積極的な情報発信
- ・職場環境の整備
- ・若手就労者への技術支援等
- ・技術・技能の伝承・保存

3 魅力発信のためのPR体制整備

- ・時代に対応した情報発信ツールを用いた国内及び海外消費者へのPR体制強化
- ・専門家等外部人材の活用

4 商品の魅力向上

- ・マーケット志向の商品開発
- ・各社の強みを生かした戦略的な販売
- ・用途開発等の支援



それぞれの役割と主な取組

産地等

課題解決に向けた取組を主体的に企画・実施

市町村

地域の実情を踏まえ、産地等と一体となった産業振興事業の実施

県

産地等が行う課題解決に向けた取組に対し総合的に支援

<第5期プラン中に行う取組>

原材料・製造用具の安定確保にむけて

- 産地等
 - ・関係機関を通じた原材料の所在や流通に関する情報収集 等
- ◆県
 - ・原材料確保等生産基盤の安定に向けた取組の支援
 - ・林業関係機関等との連絡会議の開催 等

産地の将来を担う人材の育成・確保にむけて

- 産地等
 - ・若手技能者の研鑽・交流等技術・技能の継承への取組 等
- ◆県
 - ・インターンシップ実施に向けた取組への支援 等



事業周知で情報発信

魅力発信のためのPR体制整備にむけて

- 産地等
 - ・インターネット、SNS等を通じた魅力発信による新たな顧客獲得 等
- ◆県
 - ・県HP「手しごと秋田」のPR効果向上を目指した改修
 - ・他の地域資源や観光業と連携した事業展開や海外等も見据えた販路拡大等の取組の支援 等



成果物で情報発信

改修後の県HPにインターンシップ事業で制作した映像等を公開

商品の魅力向上にむけて

- 産地等
 - ・新たな消費スタイルや商品の背景など、顧客が重視するポイント意識した商品開発 等
- ◆県
 - ・技術を生かした用途開発の支援 等